

## 学校沿革の概要

- 明治 6 年 須津・弓木・岩滝・男山4ヶ村組合立小学校を岩滝の山家屋大本家を校舎として岩滝校とする
- 9、11 弘道校と称する
  - 36、12 校舎新築落成 字板列 875 へ移転
  - 37、 4 弘道尋常小学校と改称し4ヶ年の高等科併設する
- 大正 2、 9 講堂・職員室・特別教室が落成する
- 11、10 創立50周年記念式を行う
  - 12、 4 校名改称「岩滝尋常高等小学校」とする
- 昭和 2、 3 丹後震災のため校舎ほぼ全壊 児童死者12名
- 4、 7 校舎新築
  - 16、 4 国民学校と改称する
  - 22、 4 岩滝町立岩滝小学校と改称・新制中学校を併置
  - 23、 1 学校給食指定校となる
  - 29、 9 完全給食開始
  - 33、 5 特殊学級開設
  - 50、10 新校舎建築地鎮祭・起工式が挙行される
  - 53、 9 新校舎開校式を行う
  - 12 体育館完成
  - 54、 5 言語障害児学級開設
  - 8 運動場完成
  - 9 プール完成
  - 62、 4 府及び町社会福祉協力校の指定を受ける(3ヶ年)
  - 63、10 国体ウエイトリフティング第2会場(町体育館)
- 平成元、 4 福祉教育協力校の指定を受ける(厚生省の指定)
- 3、 4 府教育実践推進校、生活科の指定を受ける
  - 4、10 府教育実践推進校、生活科の発表
  - 7、 4 京都府教育委員会指定小・中教育実践パイロット校の指定を受ける(国語科)  
国語科に個性化推進教員(T・T)が配置される
  - 8、11 教育実践パイロット校(国語科)研究発表会
  - 10、12 文部省、先進的教育ネットワークモデル地域事業の指定を受ける
  - 12、 4 京都府教育委員会「総合的な学習の時間」教育実践パイロット校の指定を受ける
  - 13、 1 少人数授業試行校の指定を受ける(3～5年)
  - 10、30 教育実践パイロット校発表会
  - 14、 4 基礎学力充実実践研究校の指定を受ける(~16年)基礎学力充実指導員1名
  - 16、 4 心のふれあい相談員活用調査研究委託(~17年)
  - 17、 4 「京の子ども夢・未来校」の指定を受ける(国語)
  - 18、11、2 「京の子ども夢・未来校」国語科研究発表会
  - 19、 4 視覚特別支援学級開設
  - 21、 4 「食に関する指導普及推進事業推進校」の指定を受ける

- 22、4 「食に関する指導普及推進事業推進校」の指定並びに「京都府学校給食研究会」研究推進の委嘱を受ける
- 23、4 「食に関する指導普及推進事業推進校」の指定並びに「京都府学校給食研究会」研究推進の委嘱を受ける  
「平成 23 年度魅力開発校(特別支援教育)」の指定を受ける  
京都府特別支援教育充実事業特別支援教育指導員の加配を受ける
- 26、4 実践開発プロジェクト研究協力校を受ける
  - 11 平成 26 年度京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」を受賞する
- 27・28 実践開発プロジェクト研究協力校を受ける
- 29、11 健康教育推進優良校として、「健やか奨励賞」を受賞する
  - 3 トイレ全面改修
- 30・令和元・2 京都府小学校教育研究会社会科教育部研究協力校  
令和元 病弱特別支援学級開設

## 教 育 目 標

### チャレンジする 岩滝の子

～時間を守って行動・プラスの言葉・よく聞いて学習～

#### 《 めざす学校像 》

- ・子どもの学ぶ意欲を引き出し、学ぶ楽しさが実感できる授業づくり
- ・子どもの自己肯定感を高め、主体的に取り組む力の育成
- ・子どもが安心して生活し、保護者や地域から信頼される学校づくり

#### 《 めざす子ども像 》

- ・人の話をしっかり聞き、解決しようと一生懸命考えたり表現したりできる子
- ・互いのよさを認め合い、人のために働く子
- ・苦手なことにも挑戦し、ねばり強く努力する子

#### 《 めざす教職員像 》

- ・確かな授業力と生徒指導力をもった教職員
- ・互いに支え合い学び合う姿勢をもった教職員
- ・学校経営への参画意識と組織マネジメント力をもった教職員

岩瀧小學校校歌

今井正視作

- 一 空にお日様人に誠  
進むよ阿蘇の内海の  
潮の流れのさわさわと  
日本の小学良い子です
- 二 鳥はつばくろ人は力  
伸びるよ天の橋立の  
緑の松のすくすくと  
岩瀧小学良い子です
- 三 足並そろえ手をつないで  
楽しく今日も学びます  
美しい國作るぞと  
希望に燃えて励みます



岩瀧小學校校章